

市民の皆様の大切な税金を有効に使うために…

事業評価を行いました



令和2年9月に行った事業評価の審査結果をお知らせします。

半田市議会
事業評価へ

総務委員会所管分

個別施策名	広聴活動の充実
問題提起	①各事業の計画は早い段階で、市民の声を聴く機会を設けること。 ②市民のアイデアや意見を、市政に反映する仕組みをつくること。
市長からの回答	①新規の計画を策定する初期段階において、パブリックコメント手続きの意見募集ができるように現行制度を見直します。 ②幅広い市民から合意形成を諮る、市民討議会等を開催する仕組みについて構築します。
個別施策名	人材の確保
問題提起	①看護師の働く意欲を高めるために、待遇や休暇取得等を充実させること。 ②夜勤従事が正規職員の条件など、内規の見直しが必要ではないか。
市長からの回答	①病棟と外来の一元化やパートナーシップマインドの実践等を通じて、ワークライフバランスの推進による労働時間の短縮に努めます。また気兼ねなく休暇が取得できる雰囲気づくりを心がけます。 ②24時間看護体制においてはやむを得ないと考えますが、子育てや介護等が必要な職員は負担を軽減するよう配慮します。
個別施策名	人材育成
問題提起	①研修内容や対象者など、研修のあり方について改善すること。 ②研修の一環として民間企業へ出向し、一定期間学ぶことでスキルアップを図ること。
市長からの回答	①従来型の集団研修や細分化した研修体系を一部見直し、肝となる階層別研修を堅持したうえで、必要な研修を柔軟に受講できるよう研修内容を統括整理します。 ②受入企業との相互理解が必要であり、現状では受入可能な企業は見当たりませんが、民間主催のセミナーへの参加等により、職員のスキルアップを図ります。

文教厚生委員会所管分

個別施策名	福祉サービスの充実
問題提起	①ふれあいセンター・元気スポット事業など、代替わりする担い手育成を地域すべてに任せるのではなく、行政としてもフォローすること。 ②自治区との関係性を強化するような地域ネットワークを行うこと。
市長からの回答	①定期的なふれあい施設の管理スタッフを対象とした交流会を行い、担い手育成を含めた各課題について意見交換するなどのサポートをしており、行政として今後も継続して支援に努めます。元気スポット事業は約200団体で、行政のフォローは必要ない状況と考えています。 ②地域ネットワークの一環である井戸端会議を開催してきました。引き続きコロナ禍における関係維持・強化に努めます。
個別施策名	教員の資質向上
問題提起	①教員の資質向上のための事業を見える化すること。 ②GIGAスクール構想に伴うICT化推進に対応するための研修を行うこと。
市長からの回答	①市が実施する研修等の事業を集約し、成果を見える化します。 ②情報端末導入研修、情報モラル・セキュリティ研修、ICT授業の円滑な実施等の研修を行います。
個別施策名	総合型地域スポーツクラブの活動の充実
問題提起	①行政から各地域スポーツクラブへ助言できる体制を作ること。 ②中学生の部活について教育委員会が指針を改定すること。 ③企画運営できる人材を育成する事業を実施すること。
市長からの回答	①年4回行われる連絡会議で各クラブの状況を確認し、助言します。 ②過去の問題点や課題を整理する中、地域部活動に移行する場合の活動場所や活動拠点、部活動に不可欠な人材の確保や育成など、今後の持続可能な部活動となるよう教育委員会と協議・調整していきます。 ③スポーツクラブ連絡会議や研修会を通じ企画運営の情報を収集し、先進事例を用いて研修会を実施します。スポーツ推進委員にも運営補助をしてもらえるような体制を再度構築していきます。